

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
<https://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL.046-824-3435
046-821-1301
FAX.046-827-0264

「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル 2023



「あたたかい福祉のまちづくり」を目的に、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人もどなたでも楽しめるイベントです。

昨年は会場の規模を縮小し感染対策を行いながら、3年ぶりに開催することができました。今年は少し規模を拡大する予定です。

- ◎日時 令和5年6月4日(日) 10時～15時
- ◎場所 総合福祉会館(本町2-1) 正面玄関前・1階・2階・4階・5階
- ◎内容 福祉に関する作品展示や即売会、体験、学び、各種相談、活動紹介等のブースの出展(予定)
※イベントの詳細は、5月以降に各地区ボランティアセンター、市役所、行政センター、役所屋等で配布するチラシ、市社協ホームページをご覧ください。
- ◎主催 「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル実行委員会

市社協ホームページをリニューアルしました

令和5年3月1日に市社協ホームページをリニューアルしたことで見やすく使いやすくなりました。市社協からみなさんへ情報が「シンプル」かつ「真つすく」に伝わるようにさらに機能を充実させていきます。ぜひ、ご覧ください。

アドレスも新しくなりました

<https://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>

※<https://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>になりました

横須賀市社会福祉協議会

検索



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費及び共同募金配分金を財源として発行しています。



「赤い羽根」共同募金へのご協力ありがとうございました

令和4年度共同募金結果報告

第一報 **5,748万円** (令和5年1月31日現在)

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、厳しい中での赤い羽根共同募金運動となりましたが、地域のみなさまからのあたたかいご支援と多くのご寄付をいただきました。3月31日までの募金運動期間となりますので、募金の最終結果・使途の詳細は、次号(7月号)でご報告します。



法人募金 協力企業

法人募金として多くのご協力をいただきました。その中から5,000円以上のご寄付をいただいた企業・法人様をご紹介します。(順不同・敬称略)

太南工業(株)
 (株)オカムラ追浜事業所
 シンジーテック(株)
 (株)北村建築工房
 (有)たけふじ
 (株)不二テクノ
 (有)あすかコンサルティング
 (有)三浦建築測量
 (株)ピンク洋装店
 (株)平坂書房
 幸英企業(株)
 かながわ信用金庫
 文化シャッター横須賀販売(株)
 横須賀タクシー(株)
 常磐電機(株)
 (株)ユーカリ
 (株)新倉商店
 (有)協和電機商会
 湘南ダイハツ(株)
 (株)エイヴィ 総務課 大野様
 (株)花崎造船所
 (株)浜電機工業
 横須賀果物商業協同組合
 (宗)光心寺
 日本水産観光(株)
 日洋物産(株)
 (株)柳屋
 (株)アロハカフェ
 (株)上林冷機
 (福)知恵の光会
 (株)三春商会
 横須賀個人タクシー協同組合
 大草薬品(株)
 (宗)清雲寺
 (宗)大善寺
 タカナン販売(株)
 (宗)大光寺

須藤設備工業(株)
 (有)阿部倉製作所
 櫻興産(有)
 (株)横須賀冠婚葬祭互助会
 (株)西村企業
 (有)川口包装
 (有)濱口金物店
 (有)きものの岩本
 (有)鈴佳電工
 (株)ホンダカーズ
 (宗)東漸寺
 (宗)貞昌寺
 ワープ(有)
 (有)井出飯金
 (医)横浜未来ヘルスケア
 システムよこすか浦賀病院
 (株)ワイキャブ
 東光商事(株)
 (有)横井清商店
 (有)東横ホームサービス
 小川海産物(有)
 (有)スター工芸
 (株)グラウト工業
 (株)鈴栄工業
 (福)横須賀乳幼児保護会
 タムラ運輸サービス(株)
 東洋観光(株)
 東邦電線工業(株)
 (株)北斗
 日新電業(株)
 六浦工業(株)
 (株)リフレックス
 ヤマグチマリーン(株)
 千代田商事(株)
 (有)アオイ薬局
 宇内建設(株)
 (学)信栄学園 認定こども園 聖性幼稚園

(有)介護サービス杏
 (福)心の会
 (福)興寿会
 湘南信用金庫
 (株)ホテル横須賀
 (福)長井婦人会
 (福)誠心会 しらかばこども園
 (福)なないろ
 (有)エイシン学院
 (福)湘南アフタケア協会
 フジヒロ技研(株)
 (株)アド・マインド
 (有)みつわ電装
 上原塗装工業(株)
 北久里浜商店街振興組合
 (株)桐ヶ谷不動産
 (有)サガラ印刷所
 (有)横須賀博善社
 (株)神和美装
 東建設(株)
 (公財)三笠保存会
 (株)伸内装
 (有)湘南安全硝子
 アト工産業(株)
 (福)宗得会 横須賀椿園
 (福)三磯会
 東京ガスライフバル飯田(株)
 文化興業(株)
 (学)横須賀田中学園
 横綜興業(株)
 (有)柳井製作所
 (株)クオリティーグラス
 (有)沼田自動車
 (株)北村商会
 (株)明伸電設
 鶴本興業(株)
 (医)明和 倉田耳鼻咽喉科

(資)亀井輪業
 (株)ヨシクラ
 (株)ニフコ
 メルキュールホテル横須賀
 八巻興業(株)
 (株)片山建設
 東京地方税理士会横須賀支部
 ローズハウス
 ローズホーム
 ローズホール
 ローズハイツ
 ローズハット
 ローズピアーノ
 (株)ハヤシ建装
 (有)サフラン
 (有)オンウェル
 (株)ナガイトータルプランナー
 (宗)東福寺
 (株)サン・データセンター
 三洋(株)
 横須賀税理士法人
 武尊建設(株)
 (有)藤田製作所
 (株)むらせ
 (株)門倉商店
 (株)グローバル・ニュークリア・
 フェエル・ジャパン
 (株)エコー産業
 (株)新都市警備
 (株)横須賀魚市場
 美豊ホンダ販売(株)
 石渡商事(株)
 (有)阿部不動産
 (株)M・Yコミュニケーションズ
 (株)ライト
 (一社)横須賀建設業協会
 (株)イカラ

(有)インワタ工業
 (株)誠礼商運
 (株)ミツミネ製作所
 (株)コバ
 (有)泉興業
 横須賀水産物商業協同組合
 (宗)徳寿院
 (株)法龍山麦酒
 横須賀 安心リフォーム会
 横須賀酒販協同組合
 あいざわ菓子舗
 (株)イワブチ工機
 (有)山西
 (有)エッチアンドピー
 (有)シーバレットエンタープライズ
 (株)味楽苑
 EDDIE HI(株)
 (学)山本学園
 (株)日の出建設
 (株)川坂コンサルト
 横須賀商工会議所
 (公社)地域医療振興協会
 横須賀市立うなまち病院



横須賀商工会議所様、横須賀法人会様のご全面的なご協力をいただきました。

使途は「はねっと」で公開しています。

共同募金には、10月から12月までの赤い羽根募金(一般募金)と特に12月を中心に行う年末たすけあい募金があります。横須賀ではこれら二つの取り組みをあわせて1回の運動として取り組み、ご寄付いただいた募金の6割を一般募金、4割を年末たすけあい募金として取り扱っています。市内の福祉施設・団体をはじめ、市社協や各地区社協が地域福祉を進めていくための事業費として、また、広く県内の福祉施設・団体、災害準備金などにも配分されます。



<http://hanett.akaihane.or.jp/>

あなたのまちの地区社協

～シリーズ第17回～ 中央地区社会福祉協議会

地域の人々と共に仲良く、楽しく、朗らかな活動

中央地区社会福祉協議会 会長 井上 道英

<地域の特色>

中央地区社協は昭和28年に設立されました。現在の主な構成組織は6町内会2自治会と、民生委員児童委員(17人)、社会福祉推進委員(41人)です。その人員規模は市内18地区社協の中で大きい方です。この地域の特色は、京急横須賀中央駅に近く、市内の中心的な商業施設や商店、行政機関、医療機関等を持っていることです。私たちはこのような生活の便が良い環境の中で地域の福祉に役立つように活動しています。

活動の拠点は令和2年8月に移転した中央地区ボランティアセンターです。ここは市役所前公園に面した川島ガラス2階にあります。部屋は以前より広くなり30人くらいの会議が可能です。ボランティアセンターの開所を始め、広報活動、各町内の福祉活動の紹介や相談、連絡など有効に活用しています。

<主な活動>

●愛の電話

特に独居の方で「見守り電話訪問」を希望する人にボランティアセンターから電話を通して安否を確認しています。また心配ごとや相談ごとの傾聴も行なっています。

●中央地区町内会長会議に参加し、連合町内会との共同活動

6町内会2自治会の町内会長会議に参加させていただき地域の福祉活動の現況確認、問題点についての話し合い、意見交換を行っています。状況を共通認識することで必要な行動がタイムリーに取れるようになります。

●社会福祉推進委員連絡会

各町内から社会福祉推進委員の代表が半年ごとにボランティアセンターに集合し、それぞれの町内の福祉活動や事例を発表し、参考にしたり励ましあったりしています。

●民生委員児童委員と社会福祉推進委員がお手伝いをする活動

☆独居の方を対象に慰問品を配布しています。各町内により異なりますが、海苔、お茶、パックご飯、赤飯、果物、トイレトーパー等です。

☆敬老の日は70歳～75歳以上の方を対象にカステラ、お祝い金、商品券、他のお祝い品を贈呈しています。

☆餅つき大会の実施…日の出町、小川町、若松町

☆節分祭実施…本町



中央地区ボランティアセンターはこの建物の2階にあります



見守り電話訪問で安否確認中



地区社協が連合町内会長会議に参加



日の出町会の餅つき大会

<市社協からのコメント>

中央地区ボランティアセンターが移転したのは令和2年8月で、コロナ禍で初めて緊急事態宣言が発出されたのは、同じ年の4月7日でした。8月には解除されていましたが、移転はそんな時に行われたのですね。移転から2年半以上が経過していますが、現在は感染対策をしながらも「愛の電話」等、様々な活動をされているのが印象的でした。

新型コロナウイルスの影響もだいぶ弱まってきましたが、活動をコロナ前と同じように展開するにはまだまだ課題もあるかと思えます。市社協としても地区ボラの活動が盛り上がるようサポートしていきたいです。

市社協の令和5年度主な事業計画(予定)



誰もが自分らしく暮らしていくことができるように、多様な支え合いを形にしていこう

- 日常生活自立支援事業 ●よこすか市民後見人等運営事業 ●成年後見事業
- 生活福祉資金貸付事業 ●たすけあい資金貸付事業(市福祉事務所・地区社協へ預託)
- 災害援護費見舞金事業 ●ハンディキャブ等による送迎サービス事業(福祉有償運送事業)

ご近所同士仲良くして地域の力を高めよう

- 18地区社会福祉協議会活動支援(地区社協、社会福祉推進委員、地区ボランティアセンター、サロン活動の推進)

地域にはさまざまな人たちがいることを理解し、誤解や偏見のない地域づくりに努めていこう

- 「やさしさ広げれ」ふれあいフェスティバル
- 小・中・高等学校ボランティアスクール



自分にあつた情報を得て役立てよう

- 『よこすか社協だより』の発行(年4回/4・7・10・1月)
- ホームページによる情報提供 ●社協リーフレットの作成・配布
- 福祉のまちづくり出張トーク

身近な地域の福祉活動を進めていこう

- 18地区社会福祉協議会活動支援(地区社協、社会福祉推進委員、地区ボランティアセンター、サロン活動の推進)
- ボランティアセンター連絡会議 ●ボランティア相談員・コーディネーター研修会の開催
- ボランティアニュースの発行(年4回/5・8・11・2月) ●ボランティア活動啓発冊子の発行
- ボランティア養成講座 ●福祉用具等の貸出 ●布おもちゃ・布えほん製作と貸出
- 布おもちゃ親子サロン「ポケット、ひろば」 ●おもちゃの病院 ●社会福祉推進委員の改選
- ひくてあまたプロジェクト(「生涯現役」フォーラム) ●当事者団体等育成事業

さまざまな人たちを支援できる活動を進めていこう

- 災害時ボランティアセンター運営検討会の開催
- 災害時ボランティアセンター設置運営訓練の実施

さまざまな機関・団体・個人が協働して、大きな力を生み出していこう

- 共同募金運動の推進 ●多種多様な機関・団体等相互の連携づくりの支援
- 地域福祉活動計画推進事業 ●地域福祉活動計画策定事業

お知らせ

市社協副会長就任

前任者の辞任に伴い、令和5年1月13日付で新副会長が就任しました。

新副会長 白井 幸江

(長井地区民生委員児童委員協議会会長)

賛助で参上! 社協活動応援団

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただきます。

(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)

★個人会員 - 1000円

★団体会員 - 5000円

*会費は年度会費(4月~3月)となっております

数は何回でも結構です。

〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階

横須賀市社会福祉協議会 総務課

TEL (821) 1301

FAX (827) 0264

E-mail shakyo@w97.so-net.ne.jp

賛助会員のご紹介

令和4年12月1日~令和5年2月28日(順不同・敬称略)

★個人(114人)

長谷川和子、山本壽美子、山本まゆ美、横須賀市民生局健康部管理職会、菱沼和幸、嘉山征勝、小光子愛育園職員の皆様、富所不二枝、森弘樹、成島奈緒美、森雪子、加藤正憲、小島美香、大久保和樹、鷺田勝宏、逸見道郎、佐藤敬子、亀井快郎、庄司貴代美、谷口みつ代、伊藤まち子、板橋政典、井上豊、本多智宏、横須賀市民生局ごとも家庭支援センター管理職会、玉成保育園・分園Solana職員の皆様、所隆一、藤沼直美、西脇由利子、岩崎佳子、廣江久美子、長谷川草子、吉田美香、石垣垂矢子、曾田麻美、高山里美、藤道子、村田佳央里、五十嵐あかね、齋藤菜穂、永井里奈、梅澤香史、家山恵美子、石井秋平、加藤菜々子、佐々木清子、森貴子、佐山真紀子、西村廣美、長谷川康子、田中よし乃、木村亜紀、瀬戸佑里子

★団体(35団体)

知恵の光会、海風学園(株)ユーカーリ、横須賀グリーンヒル、あまね、いちばん星、三和ごとも園、長井ごとも園、横須賀老人ホーム、横須賀ホームネット、サニーステージ野比海岸、大楠愛児園、衣笠愛児園、佐野ごとも園、湘南病院、シャローム浦上台、(福)興寿会、浦賀ごとも園、横須賀愛光園、小光子愛育園、神奈川後保護施設、重度神奈川後保護施設、ヒューマン、(福)富士美、清光園、フィオーレ久里浜、シャローム、横須賀基督教社会館、ソレイユカーム、玉成保育園、玉成保育園分園Solana、長岡ごとも園、第二湘南グリーン介護老人保健施設、太田ごとも園、認定ごとも園善隣園

第16回 あんしんセンターレポート

日常生活自立支援事業とは？

【措置から契約へ】

平成12年に介護保険制度導入されるまでは、福祉サービスを受ける要件を満たしているか、福祉サービスを提供すべきか否かを、行政が判断したうえで「措置」という形で提供していました。

この「措置」を原則として廃止し、福祉サービスを提供する民間事業者の参入を前提として、福祉サービスを受ける人自身が、事業者と「契約」を結んで利用するものへと変わるにあたり、事業者を選び、契約することを支援する仕組みが求められ、日常生活自立支援事業が創設されました。

【事業誕生時は別名称でした】

この事業は、平成11年10月に「地域福祉権利擁護事業」という名称でスタートしました。しかし、この名称では事業の内容がイメージできずわかりにくい等の指摘を受けたため、利用促進を目指して、平成19年度から「日常生活自立支援事業」に名称変更されました。

【事業目的と支援内容】

判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスを適切に利用できるように助け、**地域の中で自立した日常生活が送れるように支援することが目的**です。具体的には、福祉サービスの利用料の支払いを含め、収支計画を立てて、日常的に使う金銭を管理する等の援助を行なっています(第15回をご参照ください)。

ご家族、近隣の中に、福祉サービスの利用や金銭管理に不安がある方がいらっしゃる場合は、一度あんしんセンター(TEL 821-3605)にお気軽にご相談ください。

ボランティア活動体験はじめのいっぽ～移送ボランティア編～

横須賀は山坂が多く、歩行困難な方が日常生活を送るうえで、移動手段の確保が福祉課題となっています。市社協では、ボランティアグループのハンディキャブ「よこすか」の協力のもと送迎サービス事業を行っています。

今回のボランティア活動体験では、ハンディキャブ「よこすか」の会員が運転する福祉車両に同乗し、移送ボランティアを体験します。この春、はじめのいっぽを踏み出しませんか。

日時：【1日目】4月19日(水) 9時30分～11時 【2日目】4月20日(木)～5月16日(火)のいずれか1日

場所：【1日目】ボランティアセンター活動室 【2日目】利用者宅～目的地(ボランティアセンターに集合)

対象：移送ボランティアに関心があり、ハンディキャブ「よこすか」への入会を希望する75歳未満の方

募集人数：5人(先着順)

内容：【1日目】①ボランティア活動ってなに!? ②ハンディキャブ「よこすか」定例会に参加しよう
【2日目】①福祉車両に同乗し、移送ボランティアを体験しよう ②活動体験を振り返って

申込期間：4月3日(月)～4月14日(金) ※定員になり次第、申込みを締め切ります。

申込方法：よこすかボランティアセンターの窓口、または電話、メールで、必要事項(①氏名、②ふりがな、③年齢、④住所、⑤電話番号)をお知らせください。

その他：この体験を受けて、ハンディキャブ「よこすか」に入会した方は、5月27日(土)開催の運転ボランティア養成講座を優先的に受講できます。

年金のお受け取りは「かなしん」へ



ねんきん定期500
好評お取扱い中!

詳しくは
こちら▼



運転ボランティア養成講座 (国土交通省認定福祉有償運送運転者・セダン等運転者講習)

公共交通機関を利用することが困難な方のために、運転ボランティアが活躍しています。この講習を修了すると、福祉有償運送運転者・セダン等運転者として認定されます。運転ボランティアとして、一緒に活動してみませんか。

日 時：5月27日(土) 9時～18時

場 所：横須賀市社会福祉協議会 第2会議室 (総合福祉会館2階)

対 象：ハンディキャブ「よこすか」(ボランティアグループ)に入会し、市社協が行う送迎サービス事業に運転ボランティアとして活動する75歳未満の方

参加費：8,000円 (ハンディキャブ「よこすか」会員限定)

募集人数：10人 (先着順)

内 容：【講義】移動サービスの運転に必要な知識と心構え、移動サービス概論やそれに関する法律制度など
【演習】運転実技、福祉車両操作実技、接遇・介助実技

申込期間：4月10日(月)～5月19日(金) ※定員になり次第、申込みを締め切ります

申込方法：よこすかボランティアセンターの窓口、電話、またはメールで、必要事項(①氏名、②ふりがな、③年齢、④住所、⑤電話番号)をお知らせください。

※ハンディキャブ「よこすか」ではなく、NPO法人等で福祉有償運送運転者として活動を希望する方は、この講座を共同開催するNPO法人かながわ福祉移動サービスネットワークへ直接お申し込みください。(TEL 045-534-6718)

「よこすか愛しているかい?」知れば知るほど楽しい横須賀散歩

Vol. 9 「逸見」の由来

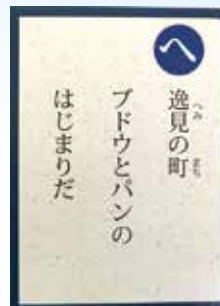
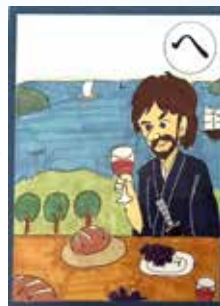
「逸見」の地名は、地域一帯が鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」に書かれている逸見次郎の領地であったことに関係していると考えられます。逸見次郎は建保の乱(和田合戦)で活躍した鎌倉幕府の御家人です。建保の乱は1213年(建保元年)に執権だった北条義時が和田義盛を挑発し、鎌倉市内で大合戦になった結果、北条が勝ち、鎌倉幕府で独裁体制を完成させる大きな一歩になりました。

この逸見という地名ですが、アイヌ語の「ハエ・ムイ」が由来といわれています。これは、山から海を見下ろすところで次第に幅広く傾いた場所を言います。

この海を見下ろす場所として、「逸見の町の東側から坂本の方に抜ける道筋の方の逸見谷がその場所」あるいは「浦賀道の汐留から山を越して逸見に下る時、向かいの浜の谷戸の方を見られる場所」が、この逸見という地名の由来の場所と言われています。

そして、アイヌ語の「ハエ・ムイ」から「ヘミ」または「ヘンミ」と変化していきました。

逸見と言えば三浦按針が徳川家康から知行地を拝領した町で有名です。三浦按針はイギリス人でウィリアム・アダムスといい、「青い目のサムライ」で、日本の歴史上、唯一彼だけが領地と家来を拝領した外国人です。徳川家康から信任が厚く、徳川幕府の外交顧問として活躍し、浦賀に事務所を持ち、住居は逸見で、西逸見町にある鹿島神社の付近といわれています。逸見の住民は、イギリス人の彼の為にワインを作るため、ブドウ畑を作り、小麦を栽培しパンを作ったと言われています。逸見の町はブドウとパンの始まりかもしれません。



横須賀カルタでもとり上げられている「逸見」と「ブドウとパン」

「よこすか歴史の交差点」 齋藤秀一

* 「よこすか歴史の交差点」は、歴史愛好家たちを中心に市民が集うサークルです。* 歴史には諸説あります。
* 現在、横須賀の町名では「東逸見町」「西逸見町」「逸見が丘」があります



受講生 中高年のためのパソコン教室
募集中 3月特別企画! 無料体験会募集中!

感染症防止対策を実施していますのでご安心ください

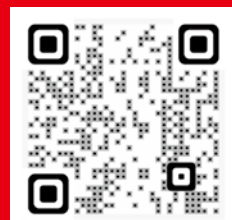


富士通オープンカレッジ横須賀校

お問い合わせ

TEL. 046-838-0402 京急久里浜駅より徒歩1分

お気軽にお電話下さい



特典付き無料体験会の申込

「ナースユニ」
*登録ボランティア
布おもちゃグループ
「ポケット」製作



よこすかボランティアセンター

場所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階

開所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

(土・日曜日と祝日は休み)

電話 (821)1303・(825)0017 / FAX (824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>



当事者組織化助成事業助成金 申請受付開始

市社協では、高齢者、障害者、子どもやひとり親世帯、在留資格を持つ外国人、LGBTQ+等、何らかの生活課題を抱えた当事者が組織化を行う団体を支援するため、設立や運営等の活動に必要な経費の一部を助成しています。自己資金では活動が難しく、行政や民間財団等から助成を受けることができない草の根的な活動を企画し、または取り組もうとする団体等からの申込みをお待ちしています。

助成対象 市社協ホームページにある当事者組織化助成事業実施要綱をご覧ください。

助成団体 1団体

助成額 90,000円以内

申込期間 4月10日(月)9時～4月28日(金)17時

申込方法 本会ホームページで様式を取得のうえ、必要事項を記載し、添付書類とともによこすかボランティアセンター窓口にお持ちください。窓口にお越しの際は、事前に来所予約をお願いします。

ボランティアセンターってなに!?

ボランティアセンターは、ボランティア活動をしたい方と依頼したい方をつなぐ橋渡しをはじめ、関係機関・団体との協働により、さまざまな地域福祉活動に取り組んでいます。横須賀市内には、横須賀市社会福祉協議会ボランティアセンター(通称:よこすかボランティアセンター)と地区社会福祉協議会が運営する17か所の地区ボランティアセンターがあり、ボランティア相談員やコーディネーターがボランティア活動の需給調整や地域での困りごとの相談に応じています。主に、よこすかボランティアセンターは市域全体のニーズに対応していますが、地区ボランティアセンターは家事支援や外出介助などの身近な日常生活のニーズに対応しています。また、地区ボランティアセンターでは、地域福祉活動拠点として同じ地区に住む方々の交流を深めています。

新年度が始まりました。気持ち新たにボランティア活動にチャレンジしてみませんか。

2023年度 おもちゃの病院 開院日

日時 毎月第1土曜日(5月・1月は第2土曜日)

10:00～12:00

令和5年 4月1日・5月13日・6月3日・

7月1日・8月5日・9月2日・

10月7日・11月4日・12月2日

令和6年 1月13日・2月3日・3月2日

場所 総合福祉会館4階 第1活動室



※新型コロナウイルス感染症の影響で予定が変更になる場合があります。

※電池で動くおもちゃを持参の場合は、新しい電池をお持ちください。

※修理代は無料ですが、部品交換の場合は実費負担をお願いします。

布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば

布おもちゃを通じて子育て中の親子の交流を深めます



日時 毎月第2金曜日 10:00～12:00

令和5年 4月7日・5月12日・6月9日・7月7日

9月8日・10月13日・11月10日・12月8日

令和6年 2月9日・3月10日 ※8月と1月はお休みします。

場所 総合福祉会館5階 教養活動室(和室)

(場所が変更になる場合がありますので、1階の掲示板でご確認ください)

対象 0歳～6歳児(未就学児)を子育て中の親子

このサロンは、よこすか布おもちゃグループ“ポケット”のご協力と赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。



最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

Instagram & Twitter

日々の出来事を
発信中!
お気軽に
覗き見&フォロー



企画 印刷 撮影 Movie

デザイン(Graphic・Web)

〒239-0807 横須賀市根岸町2-32-18 オギノビル3F
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail: toiawase@admind.jp URL: <https://admind.jp>





お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。/12時~13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月~金曜日

9時~11時30分・13時~16時
予約はTEL(82)13301
地域福祉課 生活福祉資金担当



住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時~15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間 10時30分~17時

「しずくちゃんを救う会」が閉会 ~余剰金は移植が必要な小児患者へ送金~

アメリカで心臓移植を目指して広く募金活動を行い、平成30年5月に移植手術が実現、同年9月に無事帰国した横須賀在住の岡崎雫さん。中学生になり、術後の経過も良好なことから、支援団体「しずくちゃんを救う会」が令和4年12月、会の規約に則って余剰金は移植を必要とする他の小児患者を救う会に送金し、これをもって閉会することを同会ホームページで発表しました。

市社協も社協だよりで平成29年10月号以降4回にわたり募金の協力を呼び掛ける記事を掲載し、記事を読んだ方々がさらに支援の輪を広げてくれました。「救う会」のホームページでは、多くの方々から寄せられた募金の収支結果報告のほか、雫さんやご家族の渡米後から術後までの期待や不安の気持ち、そして現在の雫さんの様子も掲載されています。



「しずくちゃんを救う会」ホームページ
<https://www.save-shizuku.com/>

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
令和4年12月1日
令和5年2月28日

16ミリ試写室、(株)根岸工務店、松生キヨ子、三春リズム体操、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、サークルかえる代表 山田修、日産自動車労働組合 追浜支部、佐藤清

上町第2地区ボランティアセンター、久里浜地区社会福祉協議会、

あとがき

高校時代に、同質性の世界はひび割れ、ついには壊れました。それまでの生活を振り返ると、幼少時は祖母の溺愛を受け、腕の中でいつも心地良く眠っていました。駆け回って遊んだ地域は、誰もが私のことをよく知っていて、とてもやさしく接してくれました。小学校と中学校は、ほぼ同じメンバーで、私の役割や位置づけは安定していました。私の生活している世界では、私の人間関係は安定的でした。他の人には、同質性の世界が壊れる時期がもっと早く訪れるかもしれません。私の思い入れの世界が根深いこと、私の周りの人たちがやさし過ぎたのかもしれません。

つかされ、落胆しました。私の心の中には、自分を肯定する意識、否定する意識、そして、他者の目の意識が芽生えました。今までの平面的な世界は霧消しました。そして、否定する意識と他者の目の意識が度々重なるように感じました。その意識が、肯定する意識を圧迫し、真つ当な思考を妨げるようになりました。蟻地獄の日々が始まりました。否定する意識は私の内部を蝕み、他者の目の意識は人間関係を蝕みました。他者の罵詈雑言が聞こえたように思い顔を上げると、怪訝な顔をした能面のような他者が眼前にいました。私はこの苦しい「現実」を逃れるために、言葉に依存しました。牧野虚太郎の詩句、「誰もいないと／言葉だけが美しい」という地点で言葉を紡ぐようになりました。意味を結ばない言葉と言葉の群れが集まり、一つの空間を形作るように感じました。この経験をきっかけに、私は詩を作り始めました。併せて、心の新たな秩序を構築する作業が始まりました。(H)